

# 取扱説明書

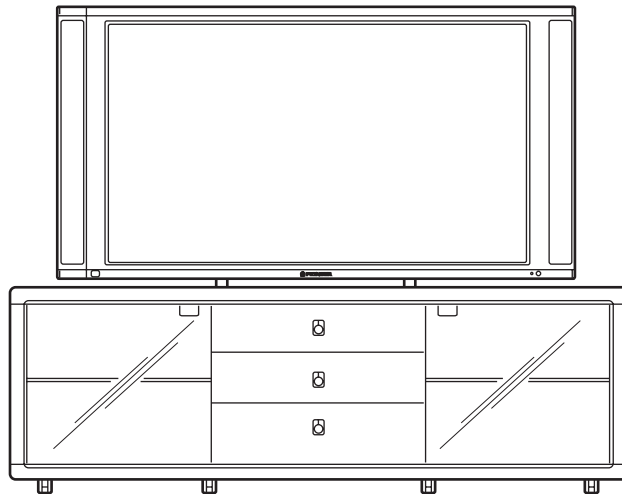
ファニチャーラック

# OT-R502

このたびはパイオニア製品をお買い求めいただきありがとうございました。

お使いになる前に、正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」を必ずお読みください。  
本製品の機能を十分に発揮させてお使いいただくために、この取扱説明書を最後までお読みください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品はパイオニアの50インチプラズマディスプレイ「PDP-502HD」を設置すると同時に、AVアンプやDVDプレーヤー等をコンパクトに設置するための高級家具調ラックです。



ディスプレイは別売品です

## 安全上のご注意

### 安全に正しくお使いいただくために

#### 図記号について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな図記号を使用しています。その記号と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠️ 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

#### 図記号の意味



△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容です。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、やってはいけない(禁止)内容です。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

## 注意

### 設置

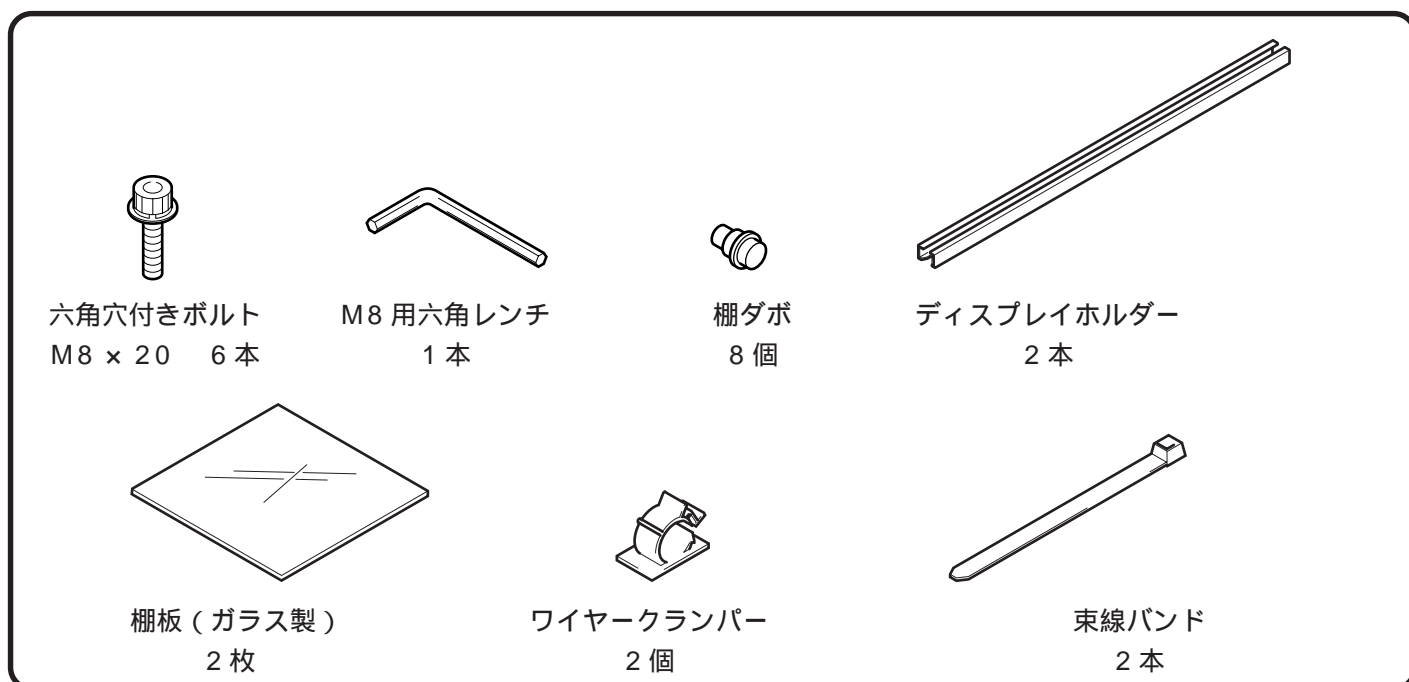
<p>ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p>	<p>本機の上にものを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。持ち運びは重いので二人以上で行ってください。</p>
<p>キャスター付きの場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p>	
<p>本機の上に重いものや外枠からはみ出すような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。</p>	<p>直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。</p>

### 使用方法

<p>本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。</p>	<p>移動するときは必ずキャスターのロックを解除してください。フローリングの床などにきずをつけることがあります。</p>
---------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

## 付属品の確認

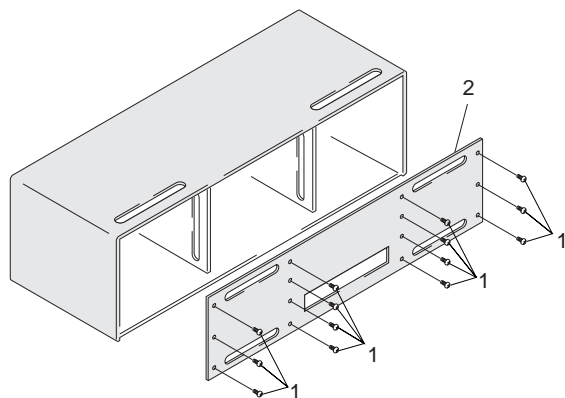
付属品を確認してください。



# ファニチャーラック (OT-R502) の設置

ファニチャーラック、ディスプレイ、メディアレシーバー等の設置は次の手順で行ってください。

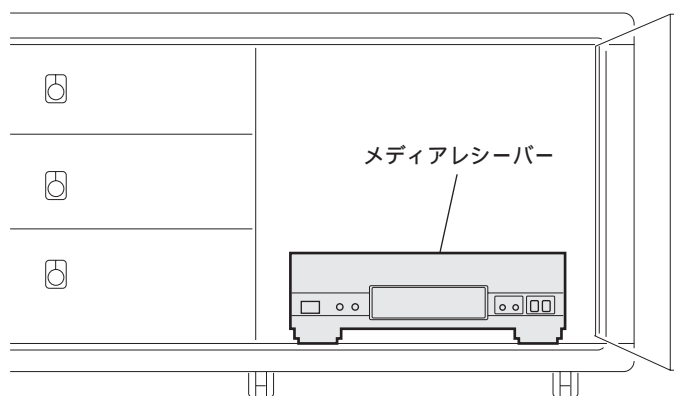
## 1 ファニチャーラックの裏板を外す



裏板を外します。

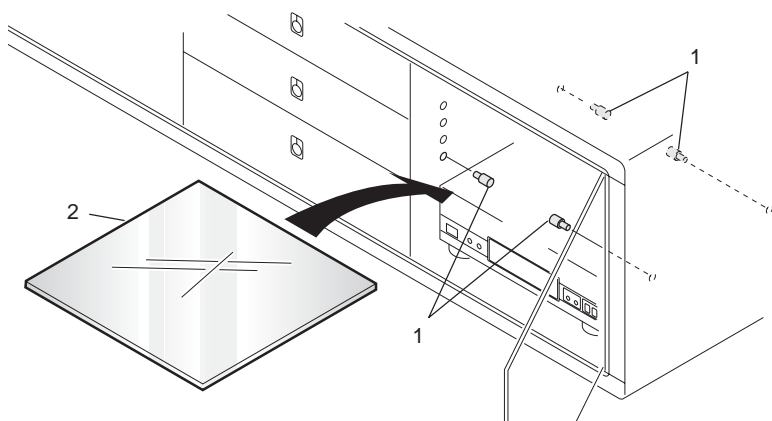
1. ねじ 14 本を外す。
2. 裏板を外す。

## 2 メディアレシーバーを入れる



メディアレシーバーをシステムラックに入れます。(必ずラックの下段に入れてください。)

## 3 棚板をセットする



下から3段目の穴に棚ダボを取り付け、棚板をセットします。

1. 棚ダボを4箇所取り付ける。
2. ガラス棚板をセットする。

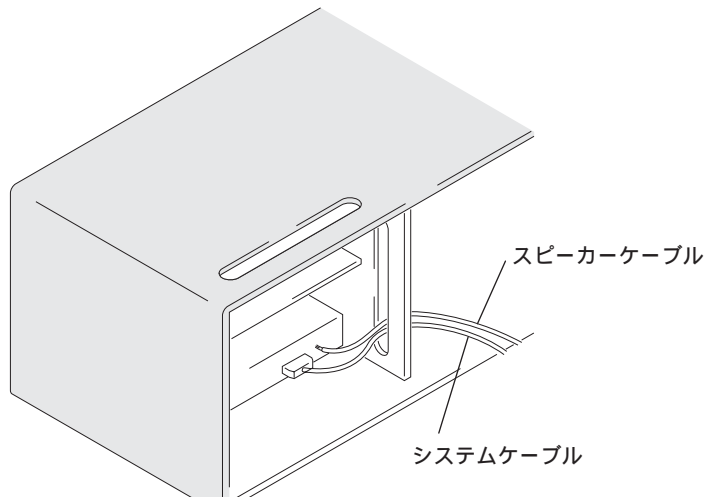
左側のスペースも任意の位置でセットします。

## 4 他の機器（AV アンプ、DVD、ビデオデッキ等）をラックの所定の位置に設置する

7 ページの「その他の機器の設置」の項を参照してください。

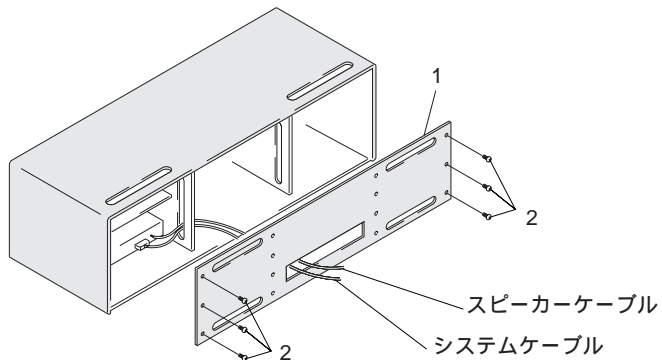
## 5 各機器間のケーブルをつなぐ

## 6 システムケーブル、スピーカーケーブルを接続する



メディアレシーバーにシステムケーブル、スピーカーケーブルを接続しPDP接続側を仕切板の抜き穴に通しておく。

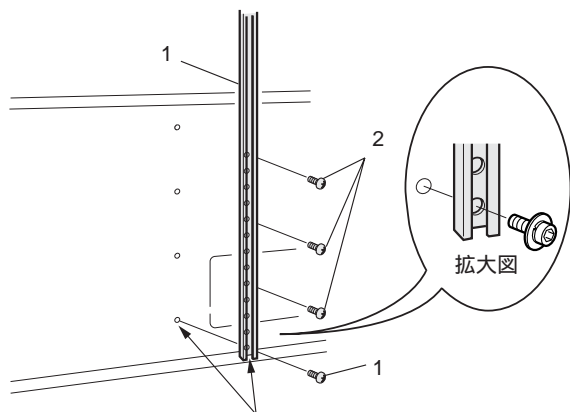
## 7 裏板を取り付ける



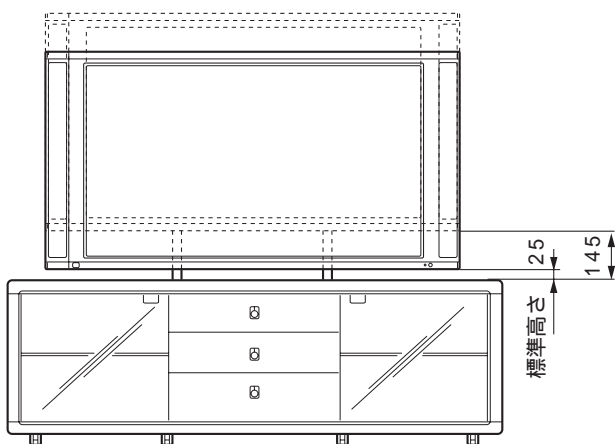
システムケーブルとスピーカーケーブルを裏板中央の抜き孔に通しながら裏板を取り付けます。

1. 裏板を取り付ける。
2. 左右両端のねじ 6 本を取り付ける。

## 8 ディスプレイホルダーの取り付け



ラックの一番下の穴とディスプレイホルダーの一番下の穴を合わせてください。



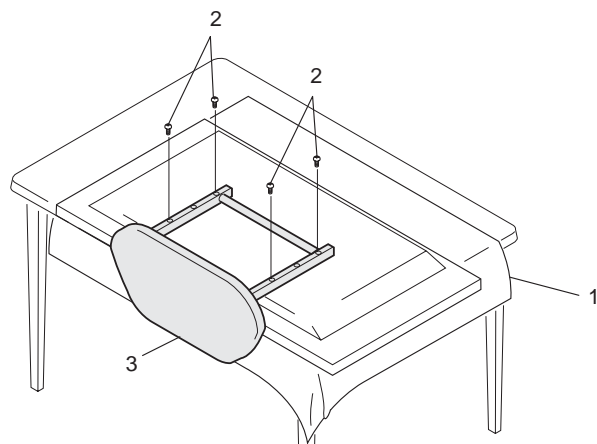
ディスプレイホルダーを取り付けます。

1. ディスプレイホルダーの一番下の穴と裏板を止めていた一番下の穴を、最初に外したねじで止める。
2. 残りのねじ3本を止める。
3. 左右を同様に行ってください。

- ・ディスプレイホルダーは高さの調整が可能です。(20mmごとに高さ25～145mmの調節ができます。)
- ・ディスプレイホルダーは必ず3本以上のねじで固定してください。

注)天板から145mmを超える高さには絶対にししないでください。(3本以上のねじで固定できる範囲にしてください。)

## 9 ディスプレイのスタンドを外す

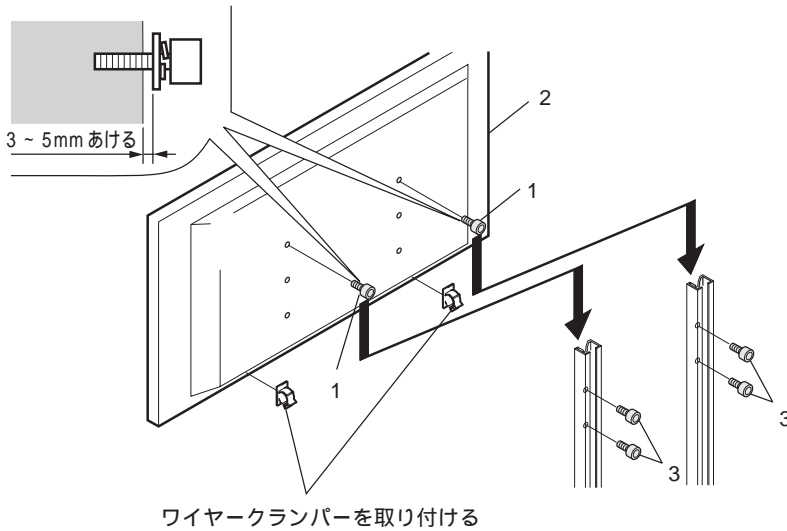


1. ディスプレイの保護用にシートのようなものを敷いて作業してください。
2. 止めねじ4本を外す。
3. スタンドを外す。

## 10 システムケーブル、スピーカーケーブル、電源コードを接続する

ディスプレイ本体にシステムケーブル、スピーカーケーブル、電源コードをあらかじめ接続します。PDP-502HD 設置マニュアル「システムのつなぎかた(基本接続)」を参照して接続してください。

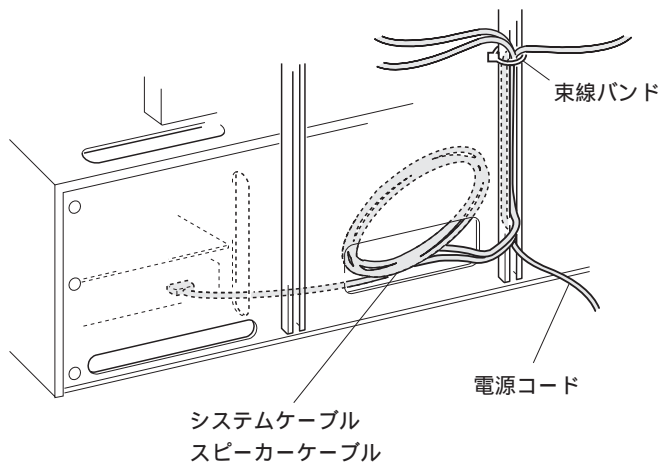
## 1 1 ディスプレイの取り付け



ディスプレイを取り付けます。  
ディスプレイを取り付ける前に必ずディスプレイホルダーの高さが左右同じになっていることを確認してください。

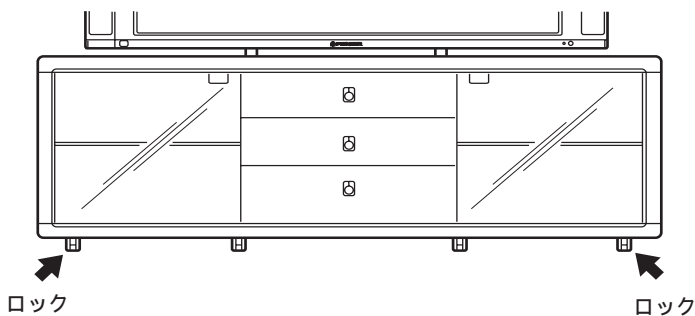
1. ディスプレイの一番上のねじ穴に付属の六角穴付きボルト 2 本を仮止めする。(必ず 10mm 以上締めてください。)
2. 仮止めした六角穴付きボルトを引っかけるようにディスプレイホルダーに取り付ける。
3. 残りの六角穴付きボルト 4 本を確実に取り付け付ける。
4. 仮止めの六角穴付きボルトを確実に締め付ける。

## 1 2 システムケーブルを収納する



1. システムケーブルをシステムラック中央裏側のスペースに納める。(図のようにシステムケーブルをディスプレイホルダーの溝の中に通します。この場合、束線バンドを用いて図の位置でシステムケーブルをディスプレイホルダーに固定します。)
2. 正面から見たときに、システムケーブルが見えなくなるようにケーブルをワイヤークランパーで止める。
3. 上記の手順と同様にスピーカーケーブル、電源コードを処理する。

## 1 3 ラックを設置する



ラックを希望の位置に移動し、キャスター 2 箇所をロックします。



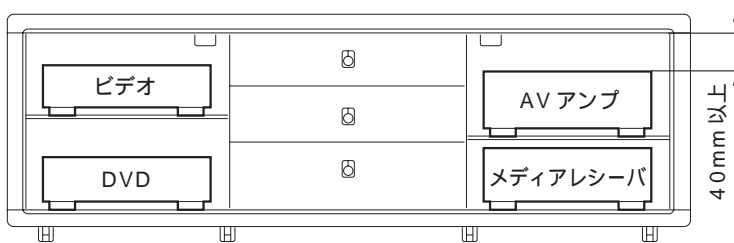
注意

移動するときは必ずキャスターのロックを解除してください。フローリングの床などにきずをつけることがあります。

# その他の機器の設置

## AV アンプ、DVD、ビデオデッキ等の配置

AV アンプ、DVD、ビデオデッキ等からの発熱を効率良く吸排気できるよう、下図の配置を参考にしてください。  
(機器の配置は左右逆でも構いません)

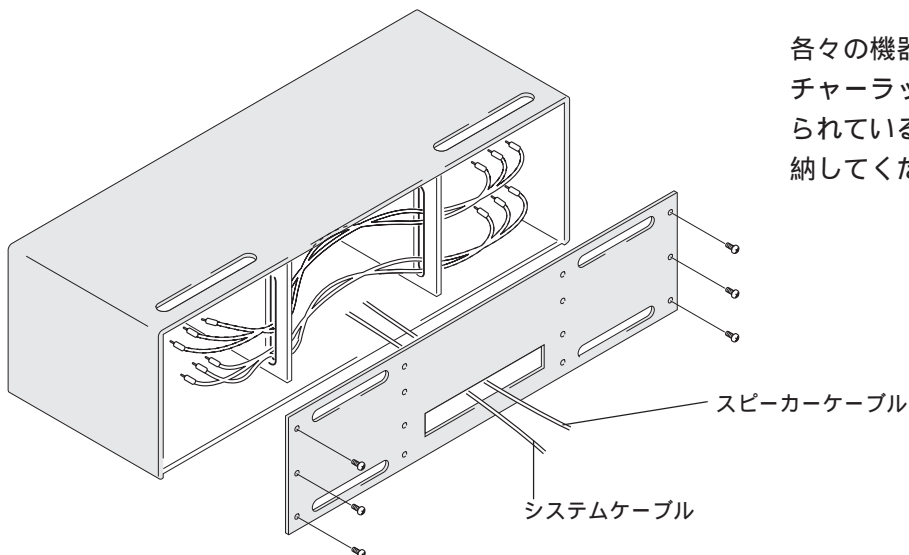


注)

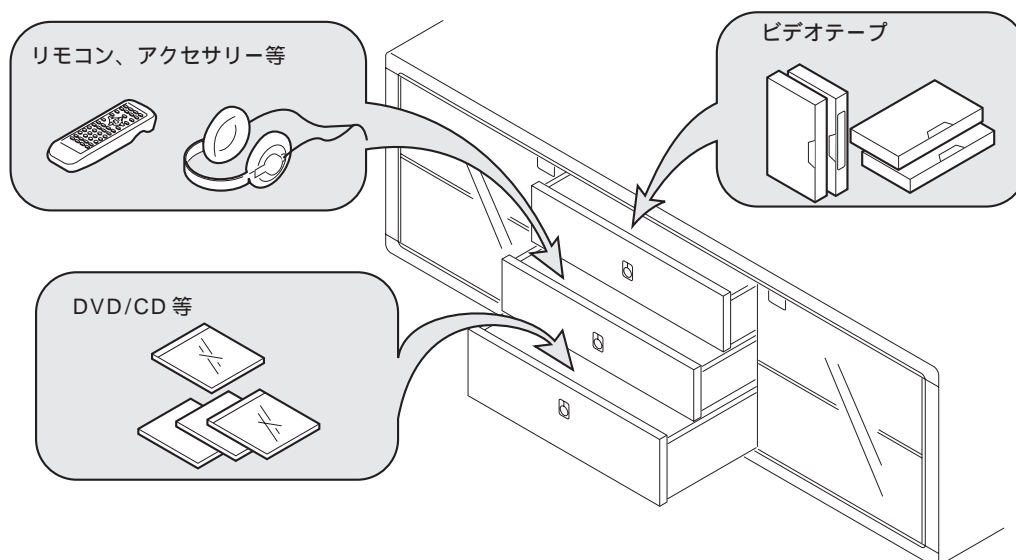
- ・AV アンプは必ず棚の上の段に設置してください。
- ・AV アンプの上は必ず 40mm 以上の隙間ができるように棚板の高さを調整してください。

各機器の接続方法については、それぞれの取扱説明書およびPDP-502HDの設置マニュアルを参照してください。

## 接続後のケーブルの処理



各々の機器に接続されたケーブル類は、ファニチャーラックの裏板を外し、ラック背面に設けられているケーブル用のスペースを利用して収納してください。



## 積載制限

- ・積載総質量 140kg 以下
- ・天板の上 60kg 以下
- ・地板の上 20kg 以下 / 1ヶ所
- ・棚板の上 20kg 以下 / 1ヶ所
- ・積上げ高さ（天板の上から） 90cm 以下

- ・左記制限を越えて積載しますと、破損や転倒等の危険があります。必ず制限内で使用してください。

## 仕様および寸法図

### 〔仕様〕

- ・高級天然木突板（一部無垢材使用）仕上げ
- ・可変ガラス棚付 AV ラック仕様
- ・寸法：1653（幅）× 570（高さ）× 580（奥行）mm
- ・質量：72kg

### 〔寸法図〕

